

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局 都市整備課  
担当課長名：課長 東 智 徳

事業名：都市計画道路 中大野中河内線（姫子工区）	事業区分：街路	事業主体：水戸市			
起終点：自：茨城県水戸市見和2丁目 至：茨城県水戸市姫子1丁目		延長：0.409km			
<b>事業概要</b> 都市計画道路中大野中河内線は、水戸市、ひたちなか市、那珂町を結ぶ環状道路として県と各市町村が一体となって整備している重要な路線である。水戸市の中心市街地へ集中する通過交通を分散させ、交通の円滑化を図るものである。					
H7年度事業化	S29年度都市計画決定 (S44年度変更)	H7年度用地着手			
		H14年度工事着手			
全体事業費	約2.4億円	事業進捗率			
		81%			
		供用済延長			
		0.262km			
計画交通量	29,500台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	1.3	総費用：(残事業)/(事業全体) 3.1/20.8億円 (事業費：3.0/20.7億円 維持管理費：0.1/0.1億円)	総便益：(残事業)/(事業全体) 27.2/27.2億円 (走行時間短縮便益：21.8/21.8億円 走行費用減少便益：0.3/0.3億円 交通事故減少便益：5.1/5.1億円)	基準年： 平成16年
	(残事業)	8.8			
<b>感度分析の結果</b> 交通量、事業費等の変動を想定しても、費用便益分析の結果に問題なし。					
<b>事業の効果等</b> 円滑なモビリティの確保（旅行速度の改善が期待される。） 安全な生活環境の確保（歩道がない区間に歩道が設置される。）					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 中大野中河内線は、水戸都市圏における環状道路として中心市街地の交通混雑解消、市街地間のアクセス向上等に寄与する重要路線である。また、地元からも早期整備の要望がある。					
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 姫子工区に隣接する見和工区の675m区間が平成16年10月に完成し、当該工区の必要性が益々高くなっている。					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 平成15年度に延長262m区間が完成し供用を開始している。残りの147m区間については、未買収地を取得後、道路改築工事に着手し、事業の早期完成を目指す。					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 難航していた用地買収について、地権者の同意が平成17年度中に得られる見込となり、未買収地の取得により事業の進捗が図られる。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 再生材（砕石、As）の利用によりコスト縮減を図った。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。